

水難救助訓練

搬送法



基本泳法



順下飛び込み



水難救助操法



堺市消防局、守口市門真市消防組合の指導隊のみなさま、
この度は熱心なご指導を賜り、誠にありがとうございました。

来月号は、新たに入学する初任教育生の「校外研修」と「視察研修」の様子をお届けします。

短期間ではありましたが、講師の皆様熱意あるご指導のもと、非常に充実した訓練となりました。

水面では意思疎通が困難な場面も多く、要救助者を安全に救出する難しさを身をもって体感。学生たちは、さらなる研鑽の必要性を強く感じていました。

迅速な対応が求められる水難救助技術の習得を目的に、基本泳法や救命胴衣の装着方法、水面での安全管理、さらには資器材を活用した救助操法まで、実践的な訓練を行いました。

堺市消防局および守口市門真市消防組合から10名の講師をお招きし、2日間にわたり水難救助訓練を実施しました。

水難救助訓練は、迅速な対応が求められる水難救助技術の習得を目的に、基本泳法や救命胴衣の装着方法、水面での安全管理、さらには資器材を活用した救助操法まで、実践的な訓練を行いました。

所属研修

大阪府内 14 消防（局）本部のみなさま、
第 119 回初任教育生 147 名が大変お世話になりました。
今回は 7 消防（局）本部の所属研修の様子をご紹介します。

高槻市消防本部



堺市消防局



大阪市消防局



枚方寝屋川消防組合



豊中市消防局



摂津市消防本部



八尾市消防本部



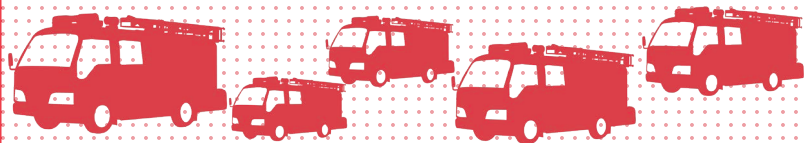
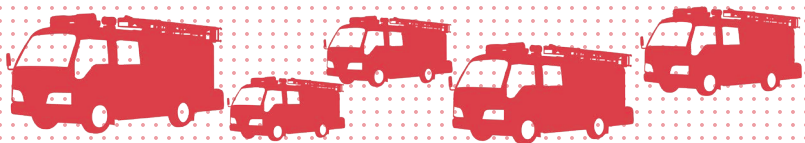
2月4日から2月6日までの3日間、所属研修を実施しました。

研修内容は本部ごとに異なりますが、本研修では、各本部の車両に同乗し、実際の災害現場を経験するなど、消火・救助・救急いずれにおいても実践的な活動や訓練を行い、非常に充実した3日間となりました。

各本部の先輩方が現場や訓練で活躍する姿を目の当たりにし、学生たちは大きな刺激を受けました。研修後の訓練では、各学生が明確な目的意識を持って取り組むようになり、これまで以上に活気あふれる訓練となっています。

所属研修は、自身の課題と向き合う貴重な機会となりました。

学生たちの奮闘する姿を、ぜひご覧ください。



松原市消防本部

消防本部・消防署開設60周年記念 消防フェスタを開催

松原市消防本部・消防署は開設60周年を迎えたことから、市民の方々に消防を身近に感じていただけるイベントとして、「消防フェスタ」を開催しました。

オープニングでは、大阪市消防局の消防ヘリ「なにわ」の飛来や特別救助隊による市役所屋上からの降下訓練、消防団員によるライブ映像119などのデモンストレーションを披露。さらに、阪南大学高等学校書道部による火災予防の書道パフォーマンスも行われ、会場を大いに盛り上げていただきました。会場では、株式会社モリタ協賛の大阪・関西万博で使用されたEV消防ポンプ車の展示をはじめ、はしご車搭乗体験、屋内消火栓放水体験、各種火災実験、心肺蘇生法体験など、多彩なプログラムを実施。大人から子どもまで多数の来場者が消防・救助・救急への理解を深めていただく機会となりました。

引き続き、市民の方々とより一層強い一体感をもって、次の10年、そして未来へ向けて前進してまいります。



八尾市消防本部

新デザイン救急車が誕生

令和7年12月23日（火）八尾市消防本部ダイタイム救急隊の救急車（A12）が更新整備されました。こちらの救急車は、令和6年8月に八尾市と株式会社 Another works が「民間複業人材活用に関する連携協定」を締結した際の実証実験の一環として制作されました。

実証実験では、プロダクトデザイナーの水野昌彦氏が参加し、救急車の新しいデザインについて助言いただき、10年以上続いた救急車のデザインを一新しました。

効果的に救急車の適正利用を広報しつつ、市民の意識改革を図るため、ただ目立つだけのデザインではなく、市民の行動につながる”伝わり方”を意識し、新たに誕生した救急隊マスコット「はちきゅう」をあしらったラッピングデザインになっています。

今後も、救急安心センター「#7119」の普及啓発を図り、救急車の適正利用の促進に努めてまいります。



豊中市消防局

震災対策合同訓練を実施

阪神・淡路大震災から30年という節目を迎える中、その教訓を次世代へ継承するとともに、今後30年以内に80%の確立で発生するとされている南海トラフ巨大地震への備えを強化するため、震災対策合同訓練を実施しました。

本訓練は、市内で震度7の地震が発生し、甚大な被害が生じている状況を想定し、警防本部運営と署所間における情報共有方法を主軸として検証を行いました。

阪神・淡路大震災当時と比べ進化した各種機器を最大限に活用し、デジタル化が進んだ情報共有システムやタブレット端末を用いて多くの情報を収集・整理することで、市内の被害状況を速やかに把握しました。

その結果、的確な対応方針を迅速に決定し、活動隊へ確実に伝達できる体制の構築につながり、警防本部運営の改善を図ることができました。

豊中市消防局では今後も、教訓と最新技術を融合させ、被害軽減を目的とした実戦的な訓練を継続して実施してまいります。



泉大津市消防本部

妊産婦のいる家族を対象とした 救命講習会を実施！

泉大津市消防本部では、市が「災害時等における宿泊施設の提供等に関する協定」を締結している市内ホテルで、妊産婦のいる家族を対象とした救命講習会を実施しています。

これは、洪水浸水想定区域に居住する妊産婦のいる家族を対象とした、宿泊型の「乳幼児・妊産婦避難所お泊り体験会」において、参加者の乳幼児の応急手当普及啓発の一環と捉え、万が一の事態に備え知識や技術を習得いただくことを目的としています。

講習会では、乳幼児のケガや誤飲、心肺蘇生法などの応急手当方法に加え、マイナ救急の普及啓発を実施しました。

参加者からは「この知識を忘れず、緊急時には思い出せるよう身につけたい」「有事の際に、正確な病状などを伝える自信がない。マイナ救急の有用性が理解できた」といった声がよせられました。

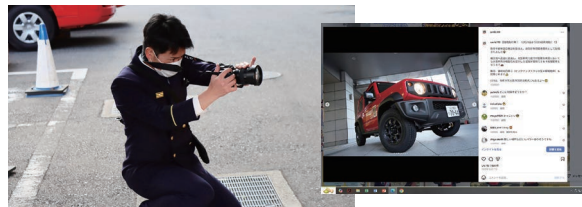
今後も、市民一人ひとりが大切な命を守る行動に繋がるように様々な機会を通じて普及啓発に取り組んでまいります。



申告の場面



企画課の皆様、お世話になりました！



撮影した写真でインスタに投稿



出初式の仕事も楽しかった！

●令和8年大阪市消防出初式

出初式は、多くの市民が来場するだけでなく、テレビや雑誌、新聞といった強い影響力を持つメディアにも注目される行事であり、消防の魅力を伝える効果も大きく、消防局からの発信として、広

ることも知りました。

旭消防署における市民対応においても、各種問合せに対応する訓練等を実施し、市民の個人情報

●事故調査委員会による中間発表

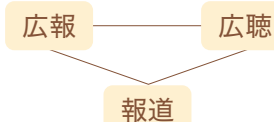
令和7年8月に発生した中央区ビル火災の事故調査中間報告の公表が、研修期間中に行われました。緊張感に満ちた質疑応答の場面では、記者や市民の方々からの質問等に細心の注意を払いながら、的確に答えることの大切さを学びました。

の突発的な電話対応や資料作成に追われる大変さを実感し、勤務規律やコンプライアンス遵守の大切さを改めて確認しました。研修後、私が体験したこの忙しさを所属で伝え、失われた信頼はそう簡単には回復しないことや、不祥事発生に対する危機感を共有したいと考えるに至りました。

令和7年度 大阪市消防局実務研修レポート

大阪市消防局では、各課所において様々な受託研修を実施しています。

ここでは、企画課（広報・広聴）で1カ月の研修を受けられた、蔭山 龍一郎さん（旭消防署）による研修レポートをご紹介します。



旭消防署 情報担当
消防司令補 蔭山 龍一郎

広報・広聴研修を
経験して



ラジオ放送も経験しました！

私は「広報」というのは、大阪市消防局の魅力を広く世の中に発信することだと考えています。消防の魅力を発信することで、市民が消防行政を理解し関心を持つようになれば、間違いなく市民の信頼を得ることに繋がります。信頼関係が深まり、消防組織が身近な存在になれば、市民からの意見や要望がこちらに届きやすくなるでしょう。そんな風通しのいい関係を作り、市民のニーズに添えていくことも、消防職員にとって大切な仕事だと思っています。普段感じているこのような問題意識のもと、広報・広聴をはじめ、企画課の業務内容や考え方、苦勞を知り、消防職員としての視野を広げることが今回の研修の目的でした。

はじめに
「私が考える「広報・広聴」」

実務に直結する多くの学び

研修では、消防署勤務では得られない様々な経験を積むことができました。そのなかでも、特に学びの大きかった出来事を振り返ってみたいと思います。

●不祥事発生時の対応

研修期間中に不祥事が発生し、夜遅くまでデスクに向かう広報・広聴、監察、人事担当の方々の姿を、間近に見るようになりました。

通常業務は後回しとなり、報道機関や市民等へ

報担当が特に力を入れているイベントでした。担当係員がそれぞれ何十人もの報道陣に対応し、全体進行アナウンス、映像配信調整など、幅広い消防業務をこなしている様子を目の当たりにしました。

晴れやかな演出で新年を^{こしは}寿ぐ出初式は、市民との距離が近くなる絶好の機会だと思いました。消防局全体のイメージアップに繋がれば、クレームの減少から有望な職員の採用まで、様々なプラス効果が期待できます。出初式の現場で肌で感じた多くのことを、旭消防署の署員に伝えたいと思っています。

おわりに

1カ月という短い期間ではありましたが、普段の消防署勤務では経験できない、多くの貴重な経験を積むことができました。消防の仕事に対する考え方や価値感も大きく変わり、私自身の成長も感じています。今回の研修を通して学んだことを、日々の業務に活かしていきます。

振り返りながら思うのは、本研修が多くの皆様のご協力あって実現したということです。研修の準備段階で多大なるご支援ご協力を賜った高度専門教育訓練センターの担当者の方々、人員不足の中でも研修に行かせてくださった旭消防署の皆様、そして研修を受入れてくださった企画課の皆様に、改めて御礼申し上げます。

研修の概要

日程：令和7年12月1日（金）～26日（金）

内容

- 広報業務：消防広報の種類、プレスリリース要領、災害報道広報要領、記者会見要領、ラジオ放送、企画取材の対応、緊急時（事故・不祥事）の対応、出初式関係事務、写真撮影（SNS発信、訓練記録など）
- 広聴業務：大阪市の広聴広報体制、広聴対応時の注意事項（広聴対応含む）